



アンコールコンサート

JAZZ ヒットパレード 第2弾

戦後ジャズ全盛時代の再現



鈴木直樹



大 我



阿部篤志



宅間善之



竹内悠馬



二塚知貴



大塚義将



八城邦義



熊本比呂志

第2弾の演奏予定曲

- ♪ ジャズコンサートでよく演奏されて居た曲
- ♪ マカロニウエスタンのヒット曲
- ♪ マンボ ポサノバなどの南米ヒット曲
- ♪ 映画音楽でヒットした曲
- ♪ コンサートを熱狂させたドラム合戦の再現
- ♪ 天才少年ドラマー「大我」君がNYから帰国したので特別出演してくれます。
- ♪ 下の左にある ジョージ川口氏とフランキー堺氏のドラム合戦は 当時の若者を魅了した演奏でした。そのレコードも大ヒットしました。



神津善行



熊田千穂

2019年12月15日(日) 14:00開演 (13:30開場)

羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール

東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

全席指定 2,000円

※未就学児童入場はご遠慮ください。

チケット販売開始 10月15日(火)より ゆとろぎ窓口(9時~20時) ※月曜休館

お問合せ ゆとろぎ(9時~17時) 電話 042-570-0707

NPO 法人多摩の青少年を育てる会 電話 090-5195-3030

主催 公益財団法人青梅佐藤財団

共催 羽村市教育委員会・NPO 法人多摩の青少年を育てる会

協力 ゆとろぎ協働事業運営市民の会





## 戦後のジャズコンサート

神津善行

前回「終戦直後のジャズヒット・パレード」と題してリクエストを含めて開催したところ 非常に人気が高く嬉しい事に続編をする事になりました。

下にある写真は「戦後の日本の音楽会」を総括する為にサントリーホールを10日間貸し切って私とテレビ朝日で行なった催し物の中の「戦後のジャズコンサート」のプログラムの抜粋です。見てお解りのように終戦直後のコンサートでは「ハワイアン」から「タンゴ」「シャンソン」など外国の音楽は全て『ジャズ』と呼んで雑然としておりました。世の中が少し安定してくると「シャンソン喫茶」「タンゴ喫茶」ロシア民謡を歌う「うたごえ酒場」日本民謡を唄う「民謡酒場」などと分離していきます。面白いのは日本の流行歌を歌えるのはカラオケ・バーが出来る前は ギターを抱えた（流し）を呼ぶしかありませんでした。

米軍関係のクラブはジャズが専門でしたが その殆どはダンスの為の音楽でした。戦後数年経つと復員兵だけでなく日本の学生などもジャズ演奏に加わります。これによってダンスの伴奏としてのジャズにあき足らず 演奏としてのジャズ音楽に若者は走ります。その結果ジャズ音楽そのものを追求する優秀な若者が増え 日本に於けるジャズ全盛時代が訪れます。

当時のジャズコンサートは演奏時間が不安定でした。その理由は順番に演奏を廻して行くアドリブ（即興演奏）が良いと 次の演奏者も懸命に演奏する為に時間が延びるのです。これが重なると演奏時間が一時間くらい延びる事は普通でした。今回の演奏会でこの現象が起きる可能性もありますので 演奏時間が延びるかもしれなせん。その場合にはご容赦頂きたく先にお願ひ申し上げておきます。どうぞお楽しみ下さい。 座長謹白



十夜連続大音楽会（第2夜） 1989年2月18日

### 『戦後ジャズ再現コンサート』

鈴木章治と『スイングエース』

中村八大 松本英彦 ジョージ川口 『ビッグ・フォー』

原信夫と『シャープス&フラッツ』

バッキー白片と『アロハ・ハワイアンズ』

見砂直照と『東京キューバン・ボーイズ』

北村維章と『シンフォニック・タンゴ・オーケストラ』